

第70回くにたち市民文化祭が始まります！

70周年 つなげよう未来へ!!

10月11日（土）～11月30日（日）

今年も市民文化祭の季節がやってきました。市民の日頃の文化活動の成果が見える多彩な催しが企画されています。ぜひお越しください！

◆参加グループ紹介展示◆

文化祭に参加するグループの催しをパネル展示で紹介します。パネル展示終了後も、文化祭期間は階段壁面に掲示します。
と き 10月11日（土）～10月18日（土）
ところ 公民館 1階市民交流ロビー



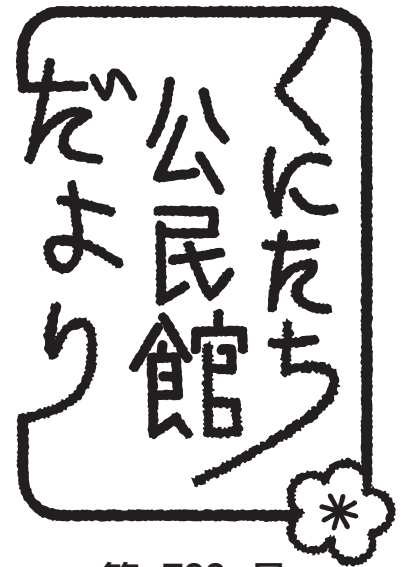
昨年のグループ紹介展示



昨年の文化祭開会式

◆文化祭開会式◆

文化祭の開催を祝して、文化祭参加グループの活動紹介と交流を行います。開会式の飲み物は、「喫茶わいがや」に提供していただきます。
と き 10月18日（土）朝10時半～
ところ 公民館 1階市民交流ロビー



第 788 号

2025年10月 5 日

(令和 7 年)

「くにたち公民館だより」
デジタルブック▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

10月18日(土) 昼1時半～夕4時

リレートーク 私の望む公民館学習

公民館学習・大人の学習って何を学ぶのか、そのために公民館講座はどうあってほしいか。参加者のリレートークと上田幸夫さん（社会教育）のお話を聞きます。

ところ：公民館 地下ホール
企画：公民館をまもる会



10月26日(日)、11月23日(日・祝) 両日とも夜7時～9時

くにたち国際友好会 WING による国際理解講座

毎月1回、一橋大学の留学生を始めとする外国人の方々をお招きし、異文化交流を目的として日本語による国際理解講座を開催しています。今回は特別編です。

ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：くにたち国際友好会 WING



10月21日(火)～26日(日) 朝10時～夕5時(最終日は夕4時)

総合美術展

グループ・サークルに関係なく市民の皆さんの自由参加による展覧会です。是非足を運びご見学ください。

ところ：公民館 地下ホール：絵画、
1階市民交流ロビー：写真、
3階講座室・集会室：手工芸・書
※1階市民交流ロビー（写真）は上記期間中、朝9時～夜10時の間、見学可能です（最終日を除く）。

作品搬入：10月18日（土）、19日（日）

ともに昼1時～夕5時 公民館 地下音楽室
企画：総合美術展実行委員による企画



文化祭パンフレットは公民館 HP からダウンロードできます。



11月1日(土)朝10時～11月2日(日)夕4時

〈伝統文化の広場〉合同生け花展

いけばなを通して、皆様の心にやすらぎをお届けすることが出来れば幸いです。皆様の当日のご来場をお待ち致しております。

ところ：公民館 3階(和室・小集会室を除く)

企画：くにたち合同生け花の会



11月2日(日)昼1時～3時

クラシックギターアンサンブルの調べ

アンサンブルならではの各パートの掛け合いの楽しさとハーモニーをお楽しみください。アンサンブルのみならず、ソロやデュオ、歌唱も予定しています。

ところ：公民館 1階市民交流ロビー

企画：くにたちギタークラブかなで



11月7日(金)～11月9日(日)
朝10時～夕5時(最終日は夕4時)

第54回国立市書道展

一般・学生による書道展です。

多数のご来場を、お待ちしております。

ところ：公民館 1階市民交流ロビー

3階講座室・集会室

企画：国立市書道連盟



11月8日(土)昼1時～3時半

第25回 日本語学習者によるスピーチの会

国立市近隣に住む外国の方々が、公民館で学んだ日本語を使ってスピーチを行います。出身地も滞在歴も違う方々から、どんな話が聞けるか楽しみです。

ところ：公民館 地下ホール

企画：KUNIFA 日本語サポート



11月9日(日)夕4時～5時過ぎ

フルートアンサンブル『桜音の会』コンサート

ルネサンス音楽、ワルツ、ポルカ、アメリカ軽音楽、童謡メドレーなど、今回も色々なジャンルの曲を演奏します。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ところ：公民館 地下ホール

企画：桜音の会



11月11日(火)昼1時～11月16日(日)夕4時

第53回くにたち絵画グループ展

個性豊かな作品が満載です。是非ご高覧下さい。毎週木曜日、公民館で楽しく絵を描いています。是非お仲間に入りませんか？一緒に楽しみましょう！

ところ：公民館 1階市民交流ロビー

企画：くにたち絵画グループ



11月14日(金)昼1時半～3時半

こぎつねの会朗読会

月2回、自分たちの好きな作品を勉強している朗読グループです。午後のひと時……私たちの朗読を楽しんでみませんか。ご来場お待ちしております。

ところ：公民館 3階講座室

企画：こぎつねの会



11月15日(土)昼2時～3時半

かのご着物がたりー Kanoko の軌跡ー

メンバーによる自装で名古屋帯、袋帯を結びます。また振袖の着付け、帯結びをお楽しみください。

着物についての質問もお受けいたします。

ところ：公民館 地下ホール

企画：着付けサークルかのこ



11月16日(日)朝10時～昼3時

楽しい「きもの」体験

日本の美しい「きもの」を初めて体験する外国人が対象。友人、家族と一緒に記念撮影もできます。参加費1人2千円。要申込。先着30名

ところ：公民館 3階全室

企画：国立国際交流会

連絡・申込先：satsuki.k502@gmail.com



11月16日(日)昼1時～夕4時

シャンソン&カンツォーネをあなたへ

フランス発祥の歌のジャンルで感情豊かな歌詞とドラマティックな表現が特徴のシャンソン。イタリアの流行歌ともいわれているカンツォーネ。さて、幕開けです。

ところ：公民館 地下ホール

企画：シャンソン・カンツォーネ愛好会

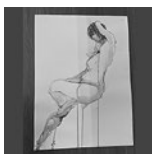


11月18日(火)朝9時～11月23日(日・祝)夕5時

裸婦クロッキー会「かよう会」

約50年前からつづくクロッキー会です。専門のモデルさんと呼ばひ20、10、5分を計14ポーズ描きます。絵を楽しみ、深めたい方に最適です。継続は力です。

ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：かよう会



11月22日(土)朝10時半～昼12時

ハートヴォイス 歌を楽しむワークショップ

ハートヴォイスは、月に1回第4火曜日10時から練習をしています。今回はお客様にも、体操、発声、曲を体験していただき、最後に団員の歌声を披露します。

ところ：FSX ホール スタジオ
企画：ハートヴォイス



11月22日(土)朝11時～夕4時

芸能フェスティバル

新舞踊、民舞とバラエティーに富み華やかな市民のつどいと、伝統的な古典舞踊を守りつなげる日本舞踊連盟とが織りなす踊りの世界に是非お出掛け下さい。

ところ：FSX ホール 1階ホール
企画：市民のつどい、国立市日本舞踊連盟



11月22日(土)昼1時～3時

花のゆりかご『カラオケと介護予防 Voice トレーニング』

お好きな歌を楽しみながら、喉を鍛えて「枯れない声」をめざしませんか？ 声のトレーニングは、誤嚥性肺炎の予防に効果的です。お気軽にご参加ください！

ところ：FSX ホール スタジオ
企画：花のゆりかご



11月22日(土)昼2時～4時

朗読を通して平和の思いを伝える

敗戦から80年、2度と戦争はしないと誓った日本国憲法が、私たちにとってどんなに大切なものなのか、朗読を通して皆さんと一緒に考えたいと思います。

ところ：公民館 地下ホール
企画：ピースリーディング結



11月23日(日・祝)朝10時～昼3時

第45回市民茶会

千利休より完成された日本の茶道。今年は和室と体験コーナーをお楽しみいただきます。美味しいお菓子とお抹茶でお待ちしております。

ところ：公民館 3階全室
企画：国立茶道連盟



11月23日(日・祝)演奏会：朝11時半～・昼2時半～、
ワークショップ：昼1時半～

バリ・ガムラン演奏会とワークショップ

ガムランは青銅の打楽器を主とした、インドネシア・バリ島の民族音楽。バリ舞踊のゲストも出演予定です。ワークショップでは演奏体験も!!

ところ：公民館 地下ホール
企画：バサール・スニ くにたち

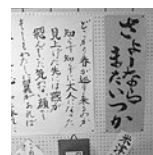


11月26日(水)朝10時～11月29日(土)昼3時

プロウタイム「ごぜん塾」& i-ze(いーぜ) 夢と笑顔の書道勉強会

ごぜん塾書道と高齢者施設書道仲間の合同作品展。書を通して自分らしい時間を耕しました。人柄がわかる言葉、揮毫作品が並びます。今回は子ども達も加わります。

ところ：公民館 1階市民交流ロビー
企画：プロウタイム～こころを耕す書道の時間～



市民文化祭は参加団体による実行委員会主催で実施しています。実行委員会は年4回開催し、催しや運営について話しあいながら企画しています。

主催：第70回くにたち市民文化祭実行委員会

後援：国立市教育委員会
公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団



11月30日(日)朝10時～昼3時

第24回国際茶会

日本・台湾の茶道、香道とお茶にまつわる互いの文化交流をお楽しみください。事前予約ください。

ところ：くにたち福祉会館 3階
企画：地域国際交流—まほうのランプ—
連絡先：maholamp@gmail.com



〈公民館70周年記念 パネル展〉

「くにたち公民館だより」が映す市民の学び —1950～80年代の公民館活動—

1955年に開館した公民館は、2025年に70周年を迎えます。これを機に、昨年9月からくにたち公民館のあゆみ・歴史をふり返る学習会を継続的に開催してきました。

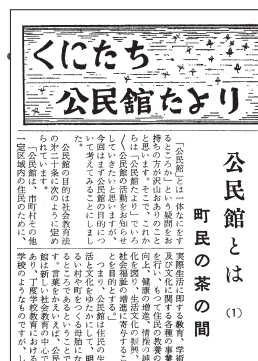
この会では、公民館のあゆみ・歴史をふり返る方法として、「くにたち公民館だより」の集約版を参加者みんなで読みあい、感想などを出しあう活動を積み重ねています。参加者は自らの興味関心に基づくテーマを設定してレポートを作成し、発表しあってきました。

そこで今回は、これまでに読んできた主に1950～80年代の「くにたち公民館だより」から、学習会の参加者それぞれが印象に残った記事、いま改めて注目すべき記事等を選定し、コメント・解説等を付してパネル化したパネル展を開催します。市民が選んだ「くにたち公民館だより」の紙面から、公民館の歴史の一端を辿ってみてください。

と き 10月28日(火)～11月5日(水)
ところ 公民館 1階市民交流ロビー



▲第307号(1985年9月5日)



▲第1号(1956(昭和31年)6月12日)部分 公民館とは「町民の茶の間」とあります。

〈参考資料〉

「くにたち公民館だより」集約版Ⅰ(1956～72年)、Ⅱ(1973～1979年)、Ⅲ(1980～1989年)など。

※公民館図書室、中央図書館でご覧いただけます。また、市役所1階の情報公開コーナーで有償頒布しています。

公民館70周年記念 式典・リレートーク・講演 わたし(たち)にとっての「くにたち公民館」 —「ともに学ぶ」ってどんなこと?—

公民館が開館して70周年を迎える11月に、「ともに学ぶ」ことの意味や公民館のあり方についてみなさんで考えるイベントを開催します。

と き 11月2日(日) 昼1時～3時半
ところ 公民館 地下ホール
電話または申込フォームより受付中
(定員85名・申込先着順)



1. 記念式典

市長・教育長をはじめとした来賓からご挨拶をいただき、70周年をお祝いしたあと、市民文化祭にも参加するコーラスグループ「ハートヴォイス」の合唱で「この道が好き」(作詞:北島多佳子、作曲:遠藤信男)を披露していただきます。

2. 公民館で活動する市民のリレートーク

長く活動している団体や、新しく活動に参加された方など、公民館と様々な関わりかたをしている市民から、活動への思いをお話しいたします。

- ・北島多佳子(障害をこえてともに自立する会)
- ・杉原広子(近代思想研究会)
- ・三谷桂子(KUNIFA 日本語サポート)
- ・森川健治(身体表現講座参加者)
- ・山上真依(ゼロエミッションを実現する会・国立)

3. 記念講演「言葉が自由に行き交う心地良さ」

長谷川宏さんは、公民館で20年以上続く哲学講座の講師を務めてきました。市民が哲学を通じて自らの経験を自由に言葉にしながら、ともに学ぶありようをみつめてこられた長谷川さんにお話を伺います。

講演:長谷川 宏(哲学者)

※ヘーゲルやマルクスの翻訳書や『日本精神史』(講談社)など多数の著作がある在野の哲学研究者。公民館では、2004年より市民と哲学書を講読する連続講座の講師を務め、市民による哲学書の読書会が生まれるきっかけを創られた。

11月2日(日)は、来館者の方に、国立市公民館開館70周年を記念してオリジナル缶バッジをノベルティグッズとして配布します!ご希望の方は2階窓口までお声がけください(数に限りがあります)。



◀デザイン例

▼▲▼〈親子で遊ぼう・考えよう 矢川プラス出張版〉▼▲▼

部屋いっぱいの新聞紙で遊ぼう

講師 山田 修平

(NPO 法人東京学芸大こども未来研究所)

新聞紙1,000枚を使って、部屋いっぱいの新聞紙で遊びましょう。親子でダイナミックな新聞紙遊びをします。新聞紙を破いたり、新聞紙でゲームをしたりして遊びましょう。

と き 10月26日(日)

第1回: 朝10時~11時

第2回: 朝11時15分~12時15分

ところ 矢川プラス 多目的ルーム大・小

持ち物 飲み物、汚れてもいい服装

対象・定員 子ども(2歳から小学校低学年まで)と

保護者、各回12組(家族単位です)

※初めての方優先。

応募者多数の場合抽選。

申込先 10月15日(水)夜9時までの間に、
申込みフォームよりお申し込みください。



〈公民館70周年記念 社会教育学習会〉

私が「地域」と出会うまで

~“つながり”と“学び”の発見!~

国立市内では、市民が地域でさまざまな活動をしています。そうした市民は「地域」とどのようにして出会ったのでしょうか?

今回の学習会では、多様な世代の方に「地域」と出会ったきっかけや、活動を通じてどのようなつながりと学びが生まれたのか、それによって自分自身が変化したり新しい世界が開けたりした経験を伺います。そうした一人ひとりの活動から、学びの場である公民館の魅力や可能性を考えたいと思います。

「地域でなにかをやりたい」「住んでいる街の活動を知りたい」「知り合いをつくりたい」と思っている方、ぜひそのきっかけを発見してみませんか。どなたもお気軽にご参加ください!

リレートーク

間宮 七穂子(たまご(多孫・他孫)食堂ボランティア)

西加 幸生(ぐるぐる食堂代表)

両角 月子(KUNIFA 日本語サポート)

木島 常明(国会「中の会」)

助言者・コーディネーター

田中 雅文(日本女子大学名誉教授・第35期公運審委員)

長澤 成次(千葉大学名誉教授・第35期公運審委員)

と き 11月21日(金)夕7時~9時

ところ 公民館 地下ホール

定員 40名(申込先着順)

申込先 10月10日(金)朝9時~

電話または申込フォームより

※この学習会は第35期公運審委員との共同企画です。



〈文化・芸術講座〉

どっこい生きてる

~来たらだいたいなんとかなる街、大阪・釜ヶ崎の出会いと表現の場から~

お話 上田 假奈代

(詩人、NPO 法人「こえとことばとこころの部屋」
(ココルーム) 代表)

大阪市西成区にある通称「釜ヶ崎」は日雇い労働者が多い地区として知られてきました。講師の上田さんは、このまちで、喫茶店、ゲストハウス、釜ヶ崎のまちを大学に見立てた釜ヶ崎芸術大学などの活動を通して、様々な背景を持つまちの人と共に、出会いと表現の場づくりを行ってきました。

講座では、釜ヶ崎がどういったまちなのか、どのような取り組みをしてきたのか、そこから生まれた表現の魅力についてお話を伺います。また、上田さんをファシリテーターとして、参加者で言葉を出し合って創作する「合作俳句」のワークショップを行います。お気軽にご参加ください!
〈上田さんの本〉『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』(フィルムアート社)



©のり やまもと

▲講師の上田さん



オレの朝
つまじき金曜日
志れたくもなう

▲合作俳句の作品

と き 10月25日(土)昼2時~5時

ところ 公民館 地下音楽室

定員 15名(申込先着順)

申込先 10月9日(木)朝9時~

電話または申込フォームより



〈憲法講座〉

憲法と地方自治の基礎講座 ～だれもが主権者として生きるために～

この講座では、憲法の視点から主権者である私たち住民一人ひとりの暮らしとまちとの関係を考えてと思います。

私たちが暮らす社会や地域はどのような仕組みによって運営されているのか、私たち市民が主権者として生きるためにできることはなにか。こういった憲法と暮らしをつなぐテーマを解きほぐしながら、ともに学び・考えることを目指します。どなたでもお気軽にご参加ください。

とき・ところ・テーマ・講師

第1回 10月28日(火) 夕7時～9時 公民館 3階集会室
「憲法から私たちの暮らしやまちを考える」

池上 洋通(地方自治研究者、元自治体問題研究所事務局長、元日野市職員)

第2回 11月9日(日) 朝10時～12時 公民館 地下ホール
「地方自治をつくる主権者としての学びとは」

荒井 敏行(前くにたち郷土文化館館長、元国立市職員)、
荒井 文昭(東京都立大学名誉教授)

定員 30名(申込先着順)

申込先 10月9日(木) 朝9時～
電話または申込フォームより



〈図書室のつどい〉

学びを支える民主主義のかたち

お話し 荒井 文昭(東京都立大学名誉教授、
多摩住民自治研究所理事長、自治体問題研究所理事)

今月は「教育」をテーマにした本を取り上げます。今回お招きする荒井文昭さんは、「だれが教育を決めるのか」をテーマに実践的・理論的な研究をされてきました。

荒井さんによれば、教育とは本来、学ぶ側が本当に学びたいと思えるものに会い、自由に話しあい、試行錯誤を重ねて、他者と学びあう営みであり、その実現には教育職員の専門性に基づく自律的な教育活動が欠かせません。しかし、現在の教育現場は「民意」の名のもとに統制の強化が進められてきたと指摘します。今回は、荒井さんの近著の研究成果をもとに、教育をめぐる諸課題と自律的な教育活動を支える民主主義のあり方を考えます。

〈荒井さんの本〉

『教育の自律性と教育政治』、『教育管理職人事と教育政治』(ともに大月書店)など多数。

とき 11月22日(土) 朝10時～12時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(申込先着順)

申込先 10月9日(木) 朝9時～
電話または申込フォームより



くにたちブッククラブ

—自分と「似ているもの／似ていないもの」—

村田沙耶香『コンビニ人間』(文春文庫)

講師 榎本 正樹(文芸評論家・現代日本文学)

とき 10月9日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 地下ホール

第155回芥川賞受賞作で、海外からの評価も高い作品。皆様はどうお読みになるでしょうか。

織田作之助『夫婦善哉』(決定版)(文春文庫)

講師 尾崎 名津子(立教大学・日本近現代文学)

とき 10月16日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

幾度も映像化され、織田作之助の代表作ともいえる作品。皆様で「読み」を共有してみましょう。

※9月11日(木)に実施予定でしたが、上記の日時に変更となりました。

定員 いずれも30名(申込先着順)

※参加者多数の場合、市内在住・在学・在勤の方を優先することがあります。

申込先 電話または申込フォームより

☆「くにたちブッククラブ」は、日本の文学作品を読む講座で、年に8回行っています。講座では、参加者の感想を全体で共有し、講師から作品の解説をしていただきます。これまでに参加された方はもちろん、1回のみのご参加も大歓迎です。



監督 蔵原惟繕 脚本 山田信夫 音楽 黛敏郎
出演 石原裕次郎、浅丘ルリ子、芦川いづみ ほか

日活の黄金期を支えた大スター、石原裕次郎と浅丘ルリ子の名コンビによる恋愛映画の傑作。お互いに愛を見失ってしまった男女が、日本縦断の旅を通して、再び愛を取り戻すという物語を、当時としては珍しかったロードムービーの手法で描いた意欲作。この作品をきっかけに浅丘ルリ子は女優として大きく飛躍を遂げることになる。

【シネマトーク】

「彼女が弾んだ60's(シックスティーズ)

——浅丘ルリ子 リリーへの路——
北里宇一郎(脚本家)

上映終了後、脚本家の北里宇一郎さんに、日活時代を中心に女優・浅丘ルリ子の魅力についてお話をうかがいます。

とき 10月19日(日) 昼2時～5時(開場昼1時半)

ところ 公民館 地下ホール

定員 70名(申込先着順)

申込先 10月8日(水) 朝9時～

電話または申込フォームより

※事前申し込み制となっています。必ず電話、窓口、申込フォームのいずれかの方法にて事前にお申し込みください。



今月の公民館 (10月～11月)

- 10月5日(日)朝 性教育講座「大人も子どもと一緒に学ぼう！
性を学ぶことはよりよく生きること
～「包括的性教育」のススメ～」
- 5日(日)昼～ 一橋大学・院生講座「教養とはなにかーエ
ラスムスの人文主義から考えるー」
- 9日(木)夜 ブッククラブ
村田沙耶香『コンビニ人間』
- 12日(日)昼～ 公民館70周年記念イベント「争いばかりの
人間たちへ ゴリラの国から」
- 16日(木)昼～ 哲学講座「長谷川宏さんと読む『日本精神
史 近代篇 下』
- 16日(木)夜 ブッククラブ 織田作之助『夫婦善哉』
- 19日(日)昼 シネボックス CINEVOX シネマトーク
『憎いあんちくしょう』
- 25日(土)昼 文化・芸術講座「どっこい生きてる～来た
らだいたいなんとかなる街、大阪・釜ヶ崎
の出会いと表現の場から～」
- 26日(日)朝 親子で遊ぼう・考えよう・矢川プラス出張
版「部屋いっぱい新聞紙で遊ぼう」
- 28日(火)夜～ 憲法講座「憲法と地方自治の基礎講座」
- 11月2日(日)昼 公民館70周年記念イベント「わたし(たち)
にとっての『くにたち公民館』」

講座の開催状況などに変更があった場合は、
公民館入り口付近への掲示や、ホームページ
でお知らせします。ご不明の点は公民館へお
問い合わせください。



▲講座等の案内

くにたち市民オーケストラ

第47回定期演奏会 指揮 澤村
杏太朗 ショスタコヴィチ交響
曲第5番 グノー歌劇「ファウス
ト」よりバレエ音楽 ヴェルディ
「シチリア島の夕べの祈り」序曲
日時 10月13日(月・祝) 昼2時開演
場所 府中の森芸術劇場
連絡先 事務局080(545) 9292



ひろば

(7ページにもあります)

美文字無料講習会

筆ペンで美文字のコツを学ぶ。
初心者対象。講師・池田聡翠
〈申込〉10月20日～31日 左記連
絡先へ 電話またはSMSで
主催・書道サークル「いろは」
日時 11月11日(火) ①4:45～②5:45
場所 公民館3階の会場を予定
連絡先 清水080(5033) 2328

「ひろば」 写真募集

国立市内の風景や行事など
の写真を募集しています。ご
協力いただける方は公民館ま
でご連絡ください。

「サークル訪問」に掲載を希望する サークル募集!

「サークル訪問」は、公民館だより編集研究委員会
の委員が市内で活動するサークルに伺って取材し、公
民館だよりへ記事を掲載するコーナーです。活動内容
の紹介や、メンバー募集を希望するサークルのみなさ
まは、ぜひご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉公民館2階窓口まで

〈サークル訪問408〉 クレヨン

学校でもない、家庭でもない、
10代のための第三の居場所として、
いま「ユースセンター」と呼ばれ
る場所が増えている。中学生が
誰でもふらっと来れる場所「ク
レヨン」はそんなユースセンタ
ーとして、今年3月に大学生3人と
社会人1人によって発足した。メ
ンバーの鈴木憲子さん、田中雅隆
さんとボランティアの石本紬夢希
さんに話を聞いた。

鈴木さんが、文京区の青少年プ
ラザでボランティアをしていると
き、仲間に「自分たちでもユース
センターをつくりたい」と持ちか
けたところ、当初の4人が集まっ
た。人づてに相談すると、国立市
内で、カフェ「chuffi」の場所を
借りられることになった。公民館
の協力を得て、チラシを1500
枚印刷し、市内の中学生に向け配
布した。高校には趣旨の説明に出
向いたものの、実績もないため、
なかなか理解されなかった。公民
館に自習で来ている中学生に直接
声をかけたこともあった。

いまは、月に1、2回、午後4
時から8時まで活動している。取
材日は、2人が学校の勉強をした
り、教え合ったり、カードゲーム
をしたりしたそう。何をするか



話してくれたメンバー
左から鈴木さん、田中さん、石本
さん(chuffiにて)

まだ始まったばかりの活動。応
援したい。
活動日時、場所、連絡先は、イ
ンスタグラム@crayon_youthce
nterでご確認ください
【文・写真 公民館だより編集研
究委員 中井 一人】

は、「成りゆき」に任せていると
言う。鈴木さんたちは、決して強
要しない。少し年上のお兄さん・
お姉さんのような存在であろうと
する。来てくれた中高生とは、と
ことんいっしょに遊び、話を聞く
ようにしている。親でも教師でも
友達でもない、斜めの関係性を
意識している。
実は鈴木さんは、薬学部 학생
だ。自身の専門知識を生かし、「中
高生に薬の正しい知識を身につけ
てもらいたいの、薬育」も同時
にやっていきたい」と抱負を語っ
てくれた。